

授業科目名： 国際政治の理論と方法		担当教員名： 畠山京子	
選択/必修： 選択	単位数： 2	開講学期： 後	開講言語： 日本語
<p>○授業の到達目標及びテーマ 本授業の目的は、国際政治の理論と方法に関する基本的な知識を教授し、論理的思考能力を養うことである。</p>			
<p>○授業の概要 本授業では、リアリズム、リベラリズム、構造主義、コンストラクティビズム、マルキシズムなどのマクロ国際政治理論と対外政策論、政策決定論などのミクロの国際政治理論を学ぶ。理解を深めるために、できるだけ具体例に言及しながら授業を進める。</p> <p>○授業の方法 授業では、パワーポイントを基に担当教員が講義を行い、その後授業内容に基づいたディスカッションを実施する。受講生は配布された文献に前もって目を通し、積極的に議論に参加することが求められる。</p>			
<p>○授業計画</p> <p>第1回 授業の紹介</p> <p>第2回 古典的な国際政治 Chapter 1</p> <p>第3回 古典的現実主義 Chapter 2</p> <p>第4回 ネオリアリズム Chapter 3</p> <p>第5回 ネオリアリズム Chapter 3</p> <p>第6回 リベラリズム Chapter 4</p> <p>第7回 制度リベラリズム Chapter 5</p> <p>第8回 デモクラティックピース Chapter 5</p> <p>第9回 マルキシズム Chapter 6</p> <p>第10回 従属論、世界システム論 Chapter 6</p> <p>第11回 構成主義1 Chapter 7</p> <p>第12回 構成主義2 Chapter 7</p> <p>第13回 フェミニズム Chapter 8</p> <p>第14回 プレゼンテーションデー</p> <p>第15回 まとめ</p>			
<p>○テキスト Stephanie Lawson (2015) <i>Theories of International Relations: Contending Approaches to World Politics, Polity</i></p>			
<p>○参考書・参考資料等</p>			
<p>○学生に対する評価</p> <p>1) ディスカッションへの参加度：30%</p> <p>2) レポート：50%</p> <p>3) プレゼンテーション 20%</p>			